

子どものこころの発達研究センターの一部常勤化に向けて

本日の学長ヒアリングで、金沢大学子どものこころの発達研究センターの平成 27 年度からの 3 名程度の常勤化が承認されました。基礎、臨床、文系から各 1 人程度とっております。

公務員の人員削減が当然の中、異例の増員人事と思います！（今後は日本全体で、今までの一律人事から業績本位の増減人事システムになるのではないのでしょうか？）

センターの一般財源化に加え、大型研究計画の複数採択、科研費採択額の増加、連合大学院の維持、社会貢献活動の維持などが、当センターへの高い評価の要因と考えます。

一方山崎学長からは、文理融合教育研究発展の引き続きの努力を、改めて課題として御指導頂きました。金沢大学の中でも、連合大学院制度と並び文理融合教育研究は、最初の本格的試みとして大いに注目されています。

今後、有松人事担当副学長の御指導のもと、人事を進めたいと思います。常勤教員は特任教員以上に、人事は全学でも厳しく審査されますので、ふさわしい人材の選択を遺漏なきよう進めさせていただきます。

皆様方の改めての御理解御指導をお願い申し上げます。

平成 26 年 7 月 7 日
センター長 三邊 義雄